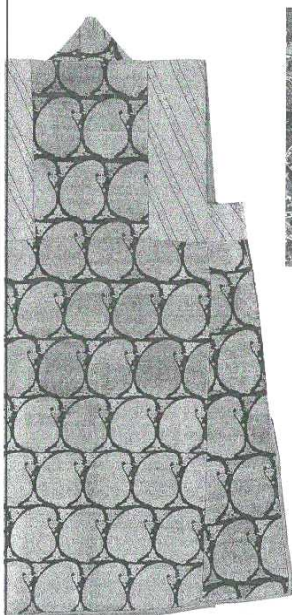
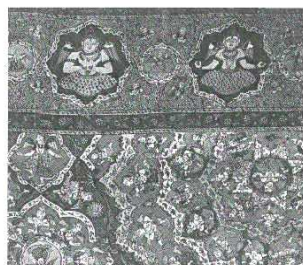


日印交流年記念企画展

インドの染織 「世界を翔た」ぬの

2007年3月11日(日)―7月8日(日)

世界に誇る
染織の国インド



インドの布は質、量共にいつも私たちを驚かせます。質の高さは古くから知られ、世界各地に広がっておりまして。その美しさに魅了され、所持することは喜びであり、ほこりでした。ヨーロッパで大流行したカシミール・シヨールは最も知られるところです。インドの布はエジプト、トルコ、イラン、インドネシア、タイ、そして日本へと運ばれて珍重され、それら各地の染織品に大きな影響を与えました。

本展ではインド国内で使用されたものと共に、世界に出ていったインドの染織品をご覧いただけます。

今、身近で見かけるなげない図柄がどこから来たものか分かるかもしれません。

■会場
当館 本館および別館

■開館時間
10:00～17:00(入場は16:30まで)

■休館日
火曜日(5/1(火)・7/3(火)は開催します)
7～9月は無休(7/9～14は展示替のため休館)

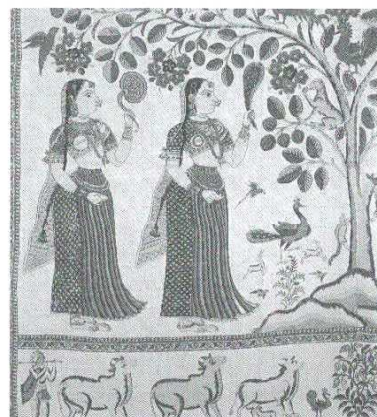
■入館料
一般1,000円、高校生・大学生700円、
小・中学生500円(毎週日曜日は無料)、
障害者 無料(介護者は1名まで500円)
※70歳以上は100円割引
※団体(20名以上)は各100円割引

■主催
(財)平山郁夫シルクロード美術館
山梨日日新聞社・山梨放送
信濃毎日新聞社 絲綢社

■後援
インド大使館 山梨県 山梨県教育委員会
北杜市 韮崎市 南アルプス市 甲斐市
NHK甲府放送局 テレビ山梨 エフエム富士
エフエム八ヶ岳 平山郁夫美術館

■協賛
麒麟ビール ANA

同時開催



平山郁夫
スケッチ帖の旅
「インドを描く」
2007年
3月11日(日)―7月8日(日)
本館1階コーナー展示

特別
展示

平山郁夫美術館(広島)所蔵品

2007年3月11日(日)―7月8日(日) 本館2階

平山郁夫の生まれ故郷、広島県尾道市瀬戸田町にある平山郁夫美術館から、5点の作品をお借りして展示します。深い精神性をたたえた初期の大作「求法高僧東帰図」をはじめ、なかなか見ることのできないシルクロードの名作をこの機会にぜひご覧ください。

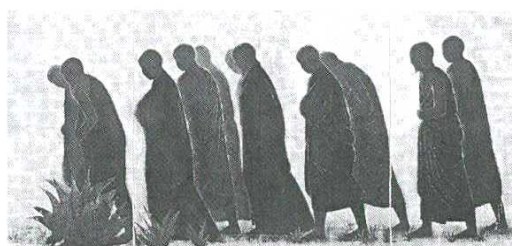


「敦煌A」
1980年 紙本彩色 60号(98.0×131.5cm)
西方との接点に位置する中国の大石窟仏教寺院。鳴沙山の砂の表現が圧巻です。



「アフガニスタンの少女」
1974年 紙本彩色 (72.8×52.9cm)
第二九回春の院展
東と西が出会う地での少女の無垢な瞳は平和を願う平山画伯の世界に向けてのメッセージと言えます。

「ガンダーラの遺跡」
1983年 紙本彩色 50号(89.4×130.3cm)
仏陀を初めて人の姿で表した「仏像」誕生の地ガンダーラにいまも残るタフティ・バレー遺跡が描かれています。この遺跡は世界遺産に登録されています。



「求法高僧東帰図」1964年 紙本彩色 四曲一隻(181.0×366.9cm)
第六回現代日本美術展
経典を求めてインドに赴いた求法僧たちが砂漠の中を中国へ帰っていく姿が、金箔を背景に象徴的に描かれています。仏僧たちのデッサンとともに展示します。

夏の展覧会「ガラスのシルクロード」

2007年7月15日(日)―12月16日(日)

7月15日から始まる夏の展覧会には、昨年(2006年)秋の院展作品「黄山」(六曲一隻)を展示します。

今夏の本館1階・別館には、「ガラスのシルクロード」と題して、古代メソポタミアのガラスからアッシリアのガラス器、ローマン・ガラス、古代中国のトンボ玉、ペルシアの切り子碗、イスラーム世界のガラス器など、館蔵品から選りすぐられたガラス器を展示します。紀元前13世紀から14世紀に至るこれらのガラスの器をとおり、シルクロードを通じて繰り広げられた二千年ロマンの一端にふれてみてください。

世界に雄飛する インドの布

館長 平山美知子

平山郁夫が昭和四十二年（一九六七年）、法隆寺の焼失した金堂壁画の再現模写に従事することができた事で、その源流を訪ねる為、一九六八年、インド、アフガニスタン、中央アジア、パキスタンの旅に出発しました。それはシルクロードという東西の文化が往来した道でもありました。

「つでも仏像を求めると多くの人が仏像を持ってきてくれました。平山のコレクションというとガンダーラの仏像と思われていたのです。けれどもシルクロードを旅しているのに何故シルク（布類）を持っていないのですかとよく聞かれました。」

たまたまインドの北部にあるカシミールで作られるカシミール毛織錦を見に行く旅に誘われ、カシミール織の工場をみて歩きました。

インドは一八七七年から七十二年間イギリスの統治下にあったので毛織錦の最高級のものヨーロッパに持ち去られ、そのデザインを真似てゴブラン織で作られる様になったのです。

それでもインドに残っているものも素晴らしい、商売上手なインド商人との交流が出来たのでカシミール毛織錦のシヨールは次々に入手出来ました。そのデザインと織の精巧さにひかれて講談社から本が出る事になったのです。その素



材となる四千メートル以上の高地（ラダック）に生息する山羊を見る為に、またカシミールを訪れました。そんな事で布に対する興味が大きく広がったと思います。

インドネシアでは当時の山崎日本大使の御紹介で、当地一番の更紗や織りのコレクションを持っている商人を知り、インドネシアの布も知る様になりました。

インドネシアは千三百という小島から成り立っているのですが、それぞれの島に独特な文化を持っていますが、それらはインドの影響をうけて創られたものが多い、海のシルクロードを知る事にもなり、布の歴史に対する知識も少しは分かる様になりました。

様になりました。

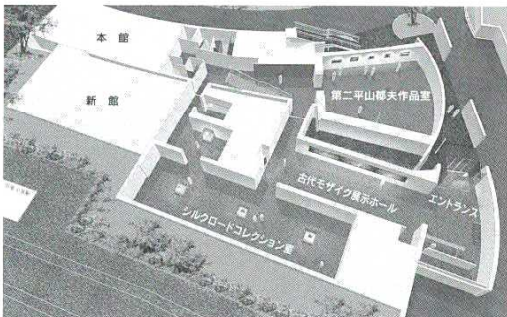
インドのパトラ織りの影響が各地で見られるので、パトラ織りを続けているインドのパタン村を訪れました。そこは家は粗末でしたが、立派な織機で立派な男性が織る高価なパトラ織りを見る事が出来ました。

フランスのリヨンの世界第一といわれる布の博物館に次ぐ、インドのアーメダバードのキヤリコ博物館にもゆきました。シルクロードという文化の交易路によつて、各地の布の技術が互いに影響しあっている事は確かな事だと思ふ様になりました。

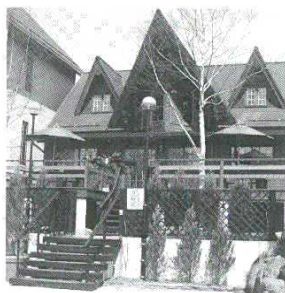




美術館の入口が
1階になります



新館の2階部分には、屋上庭園を造る予定です



4/9(mon)リニューアルオープン お休み処亜細花

(火曜日定休、AM11-PM4(食事はPM2まで))

来館者およびスタッフの憩いの場であるお休み処亜細花が、リニューアルオープンしました。

座席数を10席追加し、階段を使わなくても利用できるように、スロープも造りました。

旬の地元野菜を使った熟練の味を心温まるログハウスで堪能してください。

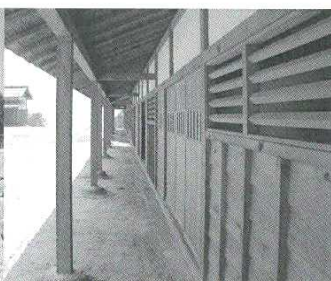
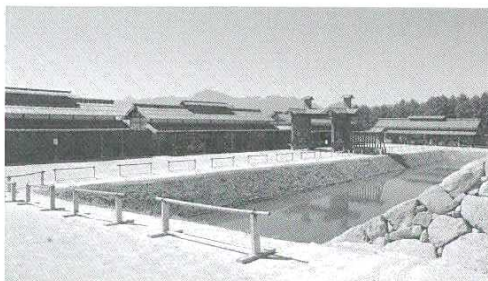
Tel&Fax:0551-32-6835

増築工事 現場便り

ただいま美術館では、二〇〇八年夏のグランドオープンに向けて美術館の増築工事を行っております。さらなる展示・収蔵面積の拡大と附帯設備の充実を目的とし、二人でも多くの方にシルクロード文化に馴染んでいただくことを願っております。

また、屋上部分へは来館された方のみならず、地域の方々の憩いの場となるべく屋上庭園を予定しております。ご期待ください。

なお、工事に伴いご迷惑をおかけすることがあるかと存じますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。



ハケ岳高原リゾートバスによる、モデルコースのご案内

駅名	出発	到着	
新宿発	8:00		特急スーパーあずさ5号
小淵沢着		9:53	特急スーパーあずさ5号
小淵沢発	10:05		ハケ岳高原リゾートバス(泉郷行き)
美術館着		10:27	ハケ岳高原リゾートバス(泉郷行き)
10:30~12:00 美術館見学 (お蔵めは地元野菜を使った「日替わりランチ」と「ブルーベリージュース」)			
12:00~13:30 お休み処「亜細花」にて昼食 (キャブリー、工房、三分一湧水、パン屋、etc)			
13:30~14:30 美術館周辺を散策			
美術館発	14:38		ハケ岳高原リゾートバス(風林火山館行き)
小淵沢着		14:57	ハケ岳高原リゾートバス(風林火山館行き)
15:00~15:30 小淵沢駅前にてお土産の購入+チケット購入			
小淵沢発	15:35		特急あずさ24号
新宿着		17:38	特急あずさ24号

(2007年4月現在)

ご参考までに、バスを利用したお薦めモデルコースを作成しました。



美術館より車で二分の場所に二〇〇七年大河ドラマのロケセット「風林火山館」が一般オープンしました。東映の職人が再現した武田家の屋敷だけでなく、撮影の様子や武田家関連資料の展示、お土産屋などが楽しめます。

またそれに伴い、JR小淵沢駅より有料送迎バスが当館へも停車することとなりました。美術館のすぐ目の前まで連れてきてくれるこのバスは、特急あずさに時間が合う便利さだけでなく、様々な施設前へ停車します。ぜひご利用ください。

風林火山館 一般オープン

市内情報

二〇〇六年度後期 イベント報告

二〇〇六年も当館主催の様々なイベントを催し、多くの方にご参加いただきました。夏から秋にかけて毎月一回開催した染色教室は、染色家の中村まり子先生に講師を務めていただき大好評を博しました。とりわけ美術館周辺に自生している茜(アカネ)を用いた染色はピンク色の染め色が美しく、希望者が殺到しました。

「シルクロードのきらめき」展に関連して行った二回の講演会は実際に展示されている作品に絡めた話ということもあり、聴講者は熱心に聞き入っていました。初回の中央大学教授の田辺勝美先生および文化女子大学教授の道明三保子先生には、それぞれ「シルクロードの失われた動物たち」や「ササン朝の銀器から」、「シルクロードの東西交流と商業民族ソグドの錦」というテーマでお話いただきました。

その他、周辺の観光施設と協力して絵本の朗読会やクリスマス星空コンサートを開催しました。平山郁夫のらくだ隊の連作屏風絵が背景舞台という素晴らしい空間の中、観客たちは心ゆくまで冬のひとときを堪能したことでしよう。

Event Report



染色教室の様子

クリスマス
星空コンサート

賛助会のご案内

賛助会は美術館の活動を支援するとともに会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

なお、皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持・管理などに使用されます。

1 年会費

個人会員	1口	10,000円
家族会員	1口	15,000円
法人会員	1口	100,000円

年会費には消費税が含まれます。口数に制限はありません。家族会員は2名様までとします。ただし、会費は寄付免税の対象となっておりませんので、あらかじめご承知おき下さい。

2 会員募集の期間

会員の申し込みは随時受け付けております。会員証の更新は毎年7月とし、12月から3月までにご入会の方は、初年度の年会費は半額となります。また4月～6月のご入会の方は翌年6月まで有効です。



3 会員の特典

- 会員証を発行します。
* 個人会員 1枚 * 家族会員 2枚 * 法人会員 5枚
- 入館料は無料となります。
- 展覧会図録がお受け取りになれます。
- 美術館ニュースをお届けします。
* 個人会員 1部 * 家族会員 1部 * 法人会員 5部
- 特別内覧会にご招待します。
- 当館主催の講演会、講座へ優先的にご案内します。
- ミュージアムショップにて会員割引が受けられます。

4 申込方法

入会をご希望の方は申込用紙に必要事項をご記入のうえ、美術館または事務局にご郵送いただき、所定の銀行または郵便局の口座に会費をお振込みください。美術館または事務局に直接お申し込みいただくこともできます。申込用紙は美術館受付に置いてあります。美術館または事務局にご請求していただいても結構です。詳しくは美術館または事務局にお問い合わせください。



※所蔵品の撮影風景

美術館冬季閉館中に当館の所蔵品の撮影を行いました。ガンダーラ彫刻の集大成ともいえるべき図版集は今年秋に講談社から出版予定です。ご期待ください!

2007年 年間スケジュール ●は、休館日

4	5	6
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7	8	9
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
10	11	12
日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29

関連美術館のご案内

2007年中に当館が協力する国内外の展覧会をご紹介します。

【絵画作品】

3/17～5/27	平山郁夫美術館(広島・尾道市)「開館10周年記念特別展「平成の平山郁夫」
3/27～5/19	スタンフォード大学クラーク財団日本美術研究所(米・カリフォルニア州ハンフورد)
4月	パリ(仏・パリ)「院展」
7/7～8/19	秋野不矩美術館(静岡・天竜市)「特別展 平山郁夫素描白選展」
7/28～9/9	高遠美術館(長野)「開館15周年記念～平山郁夫と前田青柳展～」
10月	日本橋三越(東京・日本橋)
9/4～10/21	国立近代美術館(東京・竹橋)「平山郁夫 祈りの旅路」
11/2～12/24	広島県立美術館(広島)「平山郁夫展」

【シルクロード・コレクション】

1/27～3/11	四日市市立博物館(三重・四日市市)「正倉院展」
3/17～7/1	古代オリエント博物館(東京・池袋)「Archaic Smile(ははえみの考古学展)」
4/20～7/1	かながわ学術研究交流財団(神奈川・葉山)「カシミール・織りと刺繍の世界」
4/28～9/2	横浜ユーラシア文化館(神奈川・横浜)「青い煙きウスベキスタン」

美術館イベントのご案内

現在決定しているイベントをご紹介します。詳細は美術館までお問い合わせください。

5/26(土)	関連講演会	講師：小笠原小枝(日本女子大教授)
〔開催中「インドの染織」展を監修してくださった小笠原先生にインドの布の魅力についてお話しいただきます。〕		場所：山梨 平山郁夫シルクロード美術館 料金：無料 時間：午後6時から
6/23(土)	染色教室	講師：中村まり子(染色家)
〔身近な食べ物・飲み物を使った染色1回1時間ほどでできます。〕		場所：陶芸体験館 料金：3,000円(シヨール、材料費込) 要予約 時間：午前10時から午後4時

平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第5号 平成19年5月1日発行
発行 財団法人平山郁夫シルクロード美術館
〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225
URL <http://www.silkroad-museum.jp>



財団法人
平山郁夫シルクロード美術館